



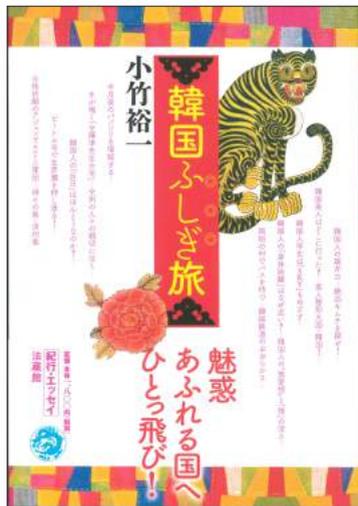
韓国ふしぎ旅

こたけ ゆういち

小竹裕一 著

▼四六判・並製カバー・二〇五頁・本体一、八〇〇円十税

2018年4月刊行



「魅惑の都」ソウル、「カオスの都市」釜山、「神々の島」済州島等々、旅人として異邦人として著者独自の視点で覗いた韓国を紹介。時には笑い、時には涙。抱腹絶倒の韓国の旅。

【目次】

プロローグ

第1章 「魅惑の都」ソウルへの旅

- 1 韓国人の「空間力」と雄弁力―南山ソウルタワーから韓国民俗村へ―/2 絶品キムチと「整形大国」―ソウル・恵化の繁華街を歩く―/3 韓国人学生はなべて「SKY(空)」をめざす―ソウルの高麗大学潜入と韓国人の「身体距離」―/4 韓国人の「無愛想」と「情」の深さ―江南の高級マンション群を歩く―

第2章 「儒教のメッカ」安東への旅

- 1 安東で出会ったベトナム―なぜ韓国の大統領はいつも逮捕される?―/2 両班の村でじつとバスを待つ―両班の正体とPタイム―/3 韓国儒教のメッカ・陶山書院へ―韓国女性の激情と儒教の衰退―

第3章 「湖南の穀倉地帯」全州への旅

- 1 KR韓国鉄道の意外なおおらかさ―韓国人エリート青年の全州暮らし―/2 朝鮮王朝開祖・李成桂のおもしろさ―半月夜のパンソリを堪能する―/3 牛が鳴く「全臻準先生古宅」にて―韓国の近代化はなぜ挫折したのか―/4 全州の庶民の親切に泣く―韓国人の「反日」はほんとうなのか―

第4章 「カオスの都市」釜山への旅

- 1 ビートルで玄界灘を押し渡る―釜山港へ帰れ―はもはや時代おくれ?―/2 釜山国際映画祭と李舜臣將軍の奮闘―韓国人はマレー人に似ている?―

- 3 合格祈願のアジエンマ軍団と「チング」の正体―なぜ仏教の寺は山のなかにあるのか―/4 韓国人の「択一思考」とキリスト教の広がり―海雲台のビーチから水宮路の巨大教会へ―

第5章 「神々の島」済州島への旅

- 1 港町・西帰浦の選挙運動―なぜ済州島には「女が多い」のか―/2 漢拏山登山とシャーマンの「堂」へ―/3 同業者 司馬遼太郎と共に―

あとがき

◆著者略歴

東京生まれ、早稲田大学法学部卒業。横浜市役所に勤務後、シンガポールの南洋大学に留学。邦字紙「星日報」に入社し、記者、編集長を歴任。その後、日本語教師をしながら、シンガポールから発言を続ける。趣味は外国旅行。これまで百回以上海外に足を運ぶ。現在、立命館アジア太平洋大学客員准教授。専門は日本語教育と異文化コミュニケーション論。著書に『シンガポールから学んだこと』（明石書店）、『地球歩きはおもしろい』（勁草書房）、『アジア人との正しい付き合い方』（NHK新書）などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
小竹裕一 著	法藏館
韓国ふしぎ旅	本体一、八〇〇円十税
ISBN:978-4-8318-5648-7 C0039	住所
お名前	電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

紀行文・エッセイ